

『中国文学論集』第50号の原稿募集

2021年5月23日

九州大学中国文学会

静永 健

九州大学中国文学会会員のみなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

緊急事態宣言の下ではありますが、中文研究室は今も孜々として元気に活動を続けております。

さて、本年度刊行予定の『中国文学論集』は、岡村繁先生の創刊（1970年）より重ねて、いよいよ「第50号」を迎えます。

会員数も少なく、極めて微小な集まりですので、ここで何か特別なイベントを……と申しましても難しいのですが、まずは例年通り、会員の皆様の研究論文を募集したいと思います。投稿規程等は九大中文HPに掲載しております。

<https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~yangfei/08-kyushudaigaku%20chugokubungakukai.html>

ただし、ここ数年来の全国的な中国学会の現状に思いを致しますと、せめて我々の論集だけでも頑張っ、全国の学界の同朋諸氏に、研究のたのしきやよろこび、そして未来に対して意義有ることなどを何とかして伝えたいと思います。

通例の投稿規程は**2万字（完成版18ページ）以下**としておりますが、今回はなるべく多くの会員の方々のご寄稿を期待し、特に**8,000字以下の小さなレポートでも歓迎**したいと思います。これからの研究のヒントとなるような、小さな問題提起や他分野との共同研究の提案のようなものも、ひろく収録させていただきたいと思います。ちなみに次回7月の座談会では、静永がこのことにちなむ報告をしたいと考えております（7月24日第314回「唐詩の微韻について」（仮））。申すまでもなく上平声8微の押韻詩のことです。

『中国文学論集』の原稿募集のスケジュールは、例年通りです。

「投稿票」の送付 7月31日（土）まで

「論文原稿」の送付 9月30日（木）まで

事前のご相談もメールで承ります。どうぞご連絡ください。

末筆ながら、会員の皆様、そしてご家族さま皆様のご健康をお祈りいたします。

敬具